

発表! Precious WATCH AWARD 2024

中野香織さん | 服飾史家／著作家

甲乙つけがたい傑作の数々は
「生きる指針」まで与えてくれる

「メゾンの美学やヘリテージ、最高峰の素材、さらに夢や楽しさまでもが詰め込まれた小宇宙。そんな各メゾンの最新作は、それぞれが唯一無二の存在感で際立っているため、そのなかから「選ぶ、苦悩も味わいました。甲乙つけがたい傑作ばかりを前にして、『最後の選択』の基準にしたのは『なんの遠慮もなく、そのメゾンらしさを品格と共に放っていること』。生きる指針まで与えていただきました」

ラグジュアリー領域を主な専門とし、人文学とジャーナリズムの手法を融合させた独自のアプローチで執筆・講演を行うほか企業顧問を務める。日本経済新聞はじめ多媒体で連載中。「イノベーター」で読むアパレル全史」増補最新版を2025年春に発売予定。

本間恵子さん | ウォッチ&ジュエリー
ジャーナリスト

ファッション性と品質を
併せもつ名品の「当たり年」

「スマホが正確な現在時刻を教えてくれるこの時代、高級時計はどうあるべきかを多くのブランドがそれぞれのアプローチで思案し、追求しています。女性のラグジュアリーウォッチにとって重要なのは、ファッション性であること、ステイタス感があること、そして感動を与えてくれること。今年はファッション性と高い品質とを両立させた名品がいくつも登場しており、当たり年だったといえるでしょう」

大学卒業後、宝飾メーカーに入社。ジュエリーデザイナーとして勤務したあと、その知識を生かし、宝飾専門誌エディターに転身。女性誌や新聞など幅広いメディアで専門性の高い記事を執筆している。アンティークウォッチの愛好家としても知られている。

池永裕子 | [Precious]編集長

ファッションと時計の世界が
より親密になった一年

「伝統と革新。アイコンの再解釈。—— このふたつの観点からも、ファッションと時計の世界が、より親密になった一年という印象を受けています。2024年9月号では、創刊以来初めて、時計が主軸の巻頭特集を展開。このシーンとこの服装に、この時計、という具現化した理想像の提案は、知識と経験が豊富な読者からの反響も高く、時計を自分ごととしてとらえるムードの高まりを感じています」

小学館入社後、一貫して女性向けファッション誌に携わる。2024年10月、本誌編集長に就任。新任編集長として初めてウォッチアワードの審査に加わる。ジェンダーフリーの本格時計と、クラシカルなスモールサイズの高橋を偏愛。

審査員を務めた
各界のプロフェッショナル7名は、ここに着目
2024年の
新作ラグジュアリーウォッチ総括!

例年にも増して、それぞれのメゾンを象徴する名品ウォッチを、よりエレガントに進化させたクリエイションが際立った2024年。エントリーされた数多くのタイムピースの審査を務めた7名の目利きたちが、率直に感想を語ります。

守屋美穂 | [Precious]発行人

今年心惹かれたのは
フェミニンなタイムピースたち

「毎年、新作時計が見せてくれる各メゾンのチャレンジにはいつも敬服し、ときには自分自身が鼓舞されることも。小さな腕時計の中に、技術、デザイン、それをまとめ上げる職人たち……それはロマンであり進化であり。今年心を惹かれたのは小さなケースに華やかなデザインの、いわゆる“女時計”です。ジュエリーのように宝石を纏うその姿や輝きは眺めているだけで気持ち明るくなり、腕時計の新しい力を感じました」

小学館入社後、女性ファッション誌やラグジュアリー・タブloidマガジンの編集や創刊に携わる。2020年から雑誌「Precious」編集長を務め、2024年10月より現職に就任。「Precious」ブランドを統括している。

犬走比佐乃さん | スタイリスト

宝飾・時計専門以外のメゾンの
クリエイションが「開花」した一年

「年々、それぞれのメゾンの個性を生かしたウォッチメイキングの成熟度が高まっているように感じます。今年は特に、“シャネル”や“エルメス”、“ルイ・ヴィトン”といった、いわゆる宝飾・時計専門ではないフランスのメゾンのクリエイションが際立ち、印象に残りました。将来的に“名品”と謳われるに値しない新作も誕生し、大人の女性の時計選びの選択肢がますます増えたのはうれしいことです」

本誌をはじめ数々の女性誌や、多くの人気女優のスタイリングを手掛け、「マダム大進」の愛称で広く支持されている。30年以上第一線を走り続けているキャリアで培われた「名品」に対する高い審美眼には定評があり、時計好きとしても知られる。

立野リカさん | モデル(本誌専属)

進化した現代女性が求めるのは
「自分を表現する時計」

「毎年、女性たちが求める時計の傾向に変化を感じてきましたが、2024年のラグジュアリーウォッチ界では、また新たな躍動が生まれたように思います。さらに進化した現代女性が求めているのは“自分を表現する時計”。それに加えて私個人としては、時計にはストーリーを語ってほしいと思っています。時計業界はもちろん、特に女性用時計の将来にとっても期待し、ワクワクせずにはいられません」

アメリカ・カリフォルニア州出身。2011年、モデルとしての活動をスタート。2015年9月から本誌専属モデルを務める。仕事柄多くの名品を手にしてきた経験から、磨かれた審美眼の持ち主に、腕時計への関心は高く、少しずつコレクションしている。

岡村佳代さん | ウォッチ&ジュエリー
ジャーナリスト

これからの高級時計市場を占う
エポックメイキングな新作が目白押し

「各メゾンの新作発表を受けて、久しぶりにワクワクした一年になりました。メゾンを象徴するアイコンが意表をつく進化を果たしたり、未来の絶対的アイコンになりうる新しいモデルが誕生したりと、いわば“アイコンウォッチ・レボリューション 2024”、高橋化が加速する一方のなか、自分にとっての名品とは何かを見極めることができる審美眼を磨いていくことが、ますます重要になっていくことでしょう」

時計専門誌を手掛けたことをきっかけに、その魅力に開眼。スイスの時計フェアの取材歴は業界屈指のキャリアを誇る。幅広い媒体で記事やコラムを執筆するほか、ラグジュアリーメゾンのスタッフトレーニングに登場するなど、活躍の幅を広げている。

私にとって時計とは……

日常の流れにリズムを刻みながら時を超える力をくれる伴奏者。
針が刻むのは、瞬間の積み重ねである歴史、
流れていく時への敬意、そして未来への想い。

中野香織さん 服飾史家・著作家

時計回りに45度回転した文字盤は、車の運転中にハンドルを握ったまま時刻を見やすくするための発想から生まれたもので、さまざまな文化が花開き、活況を呈した1920年代に生まれた時計らしい満点的なデザイン。ポジティブなマインドをもつ気遣い女性に似合う一本。時計「ヒストリー・アメリカン 1921」●ケース：WG ●ケース径：36.5mm ●ストラップ：バーガンディーカーフレザー ●手巻き ●¥4,972,000(ヴァンショロン・コンスタンタン) コート ¥625,900・中に重ねたコート ¥515,900(セ・ロウ・ジャパン)

ダイヤモンドウォッチ賞

ハイジュエラーとマニファクチュール
ふたつの矜持が融合した絶世の機械式時計

◆ピアジェ◆
『ライムライト ガラ』

「なんのてらいもなく堂々と、
これぞハイジュエラー」という威厳と誇り、
風格を湛える至高のウォッチ」——中野香織



ダイヤモンドそのものの輝きと
美々、エレガントなタイムピ
ースの主役を務めたジュエリーウォ
ッチに贈られるこの部門「ジュエラ
ーのみならず時計産業のマニファ
クチュールからも多くの作品がエン
トリーされたなかで、突出した評価
を集めたのは、「これぞダイヤモンド
ウォッチ」という佇まいの、
「ピアジェ」の「ライムライトガラ」

でした。
「創業150周年を迎え、名門の風
格が漂うクリエーションが光った
「ピアジェ」ですが、このウォッチ
の美しさは別次元。高品質のダイ
ヤモンドの輝きを最大限に引き立て
るデザインや宝飾技術に惜しみない
拍手を送りたい」(天走さん)
「肉眼でも、この上なく美しいキラ
キラした輝きに目眩を覚えますが、

撮影中モニターで拡大して確認して
いると、特に文字盤のスノーセッテ
イングの見事さに惹き込まれてしま
いました。これだけのハイジュエリ
ーウォッチでありながら、自社製の
薄型自動巻きムーブメントを搭載し
ており、「ジュエラー」であり、マ
ニファクチュールである「ピア
ジェ」の真骨頂といえる珠玉の一本
です」(岡村さん)

ラウンド形のケースを包くアсимメトリーなラグの
流麗な曲線によって生まれる唯一無二のフォルム。
この上なくセンシュアルなメゾンのアイコンに、
惜しみなく高品質のダイヤモンドをあしらひ、非
現実的なほどの輝きを放つ夢のハイジュエリーワ
ォッチに。その佇まいの美しさだけでなく、メ
ゾンが誇る宝飾技術によって、まるで肌に吸い付
くような極上の装着感にも一流の美学が息づく。
「ライムライト ガラ」 ¥44,880,000 ●ケース：
WG×ダイヤモンド ●ケース径：縦32mm ●プレ
スレット：WG×ダイヤモンド ●自動巻き(ピア
ジェ)



右/ゼンマイを巻き上げるため
の魅力を発生させる扇形の部品
「ローター」にメゾンの紋章を
刻印するなど、自社製ムーブメ
ント「601P1」に施された美し
い仕上げをケースバックから賞
めることができる。左/繊細な
カーブを描くラグをはじめ、随
所に高度なダイヤモンドセット
の輝きが光る。

マザー・オブ・パールならではの輝きと質感によって生まれる、繊細で大人気味のピンクのグラデーション。高品質なマザー・オブ・パールを選び出し、それぞれを正確にトレースしてカット。そのピースをひとつずつはめ込み、組み立てる職人技はまさに芸術の域。「セルペンティ トゥボガス 安藤忠雄 限定モデル スプリング エディション」 ¥2,541,000 ●ケース：SS×PG×ダイヤモンド ●ケース径：35mm ●ブレスレット：SS×PG ●クォーツ（ブルガリ）

クラブツマンシップ賞

職人技が光る繊細な文字盤によって
美の再生を果たした麗しきアイコン

ブルガリ。

『セルペンティ トゥボガス
安藤忠雄 限定モデル
スプリング エディション』

「時計に季節を映し、
最高の技術で表現するコンセプトにも
敬意を表したい」——安藤忠雄



右/四季を映し出す文字盤に呼応するように、リュウズに用いられる素材も季節ごとに異なるこのコレクション。スプリング エディションは艶やかなカボションカットのピンクルベライトを採用。左/ベゼルにセットされた2列のダイヤモンドが、文字盤の色彩をドラマティックに演出。

「1940年代からの「ブルガリ」のアイコン、変身と再生を重ねながら永遠を象徴する「セルペンティ トゥボガス」を、桜の花が開花し生命力が再生する日本の春のイメージで見事に「肌皮」させた驚きの作品。こんな可憐に、「セルペンティ」というモチーフを表現できるとは！」（中野さん）

「ウォッチの文字盤をキャンバスにして、季節のニュアンスを描き出すというアイデアが秀逸。マルケトリの技法で描き出されたランダムなパターンが、安藤忠雄さんの建築のクリン・ミニマリズムと重なります」（本間さん）

ゾンのウォッチメイキングに宿る卓越したクラフツマンシップにスポットを当て、讃えるこの部門。2024年は、建築家・安藤忠雄氏とのコラボレーションによって、美しき進化を遂げた名品「セルペンティ トゥボガス」の限定モデルが選出されました。春夏秋冬、それぞれの季節を、異なる色彩のマザー・オブ・パールや寶石を用いたマルケトリ（象嵌細工）の文字盤で表現した4つのモデルからなる、この限定コレクション。エントリートされたのはピンクのマザー・オブ・パールが繊細なグラデーションを描くスプリング エディションです。

本格機械式ウォッチ賞

最高品質のムーブメントと
繊細な文字盤が織りなす気高きオーラ

◇グランドセイコー◇

『ヘリテージコレクション SBGH343』

フ アクション性だけではなく、
ムーブメントにもこだわる女
性が増え続けている昨今。年々機械
式ムーブメントを搭載したレディース
ウォッチは増加の一途をたどってい
ます。そのため過去最高のエントリ
ー数を記録したこの部門で、最も多
くの支持を集めたのは、時計界で存
在感を増している「グランドセイコー」
のジェンダーフリーウォッチで

した。非常に高い精度を誇る自動巻
きムーブメントを搭載していること
は大前提として、文字盤の仕上げや
色味の美しさも高評価の理由に。
「時の流れと共に移り変わっていく
季節と、変化していく自然の美しさ
を映し出す「グランドセイコー」の
ウォッチメイキング。それを表現す
る繊細なライトグリーン文字盤が
シンプルでデザインに映え、まさに

「クワイエットラゲジュアリー」な
タイムピース」(池水)
「日常生活用強化防水をはじめ高い
機能を備えながら、非常に軽く、正
確で、周囲を感圧することなく知的
でさわやかな表情を湛えています。
絶対的な信頼感に裏付けられた
「ザ・グランドセイコー」、これぞ日
本の品性、日本の栄光ではないでし
ょうか」(中野さん)

「若葉をイメージしたライトグリーンの文字盤。
個性と気品を漂わせながら、実は幅広いコーディネートに
マッチするファッショナブルな一本」——岡村佳代



日本の美意識を原点として、高級時計にふさわし
い外観を与えるべく編み出されたデザイン理念
「グランドセイコースタイル」を貫く、研ぎ澄ま
されたシンプリシティ。1967年発表の伝説的モ
デル「62GS」から継承されたデザインコードを
モダンにアレンジしたケースは時計本来の美を湛
え、標の若葉をイメージした文字盤の色彩と気高
いコントラストを奏でる。ケースとプレスレット
は従来のチタンより白く美しく傷つきにくいブラ
イトチタンを採用し、玉ねぎの半玉程度という軽
さを実現。『ヘリテージコレクション SBGH
343』 ¥1,056,000 ●ケース：ブライトチタン ●
ケース径：38mm ●プレスレット：ブライトチタ
ン ●自動巻き(セイコーウォッチお客様相談室)



右「グランドセイコー」が得意
とする高度な研磨技術「ザラツ
研磨」による、シャープな多面
体からなるケース。ベゼルがな
いため広々と見える文字盤は、
美しさだけではなく視認性の高
さも追求。左「シンプルで美し
さが際立つ「キャリバー 9S85」
は、約55時間のパワーリザー
ブを確保。

各界の目利きたちが選んだ、
私的「今年の一歩」!

審査員個人賞

時計のみならず、ラグジュアリーブランドの名品に
造詣が深い7名の審査員たちの心をとらえた
新作に贈呈する、私的「ウォッチ・オブ・ザ・イヤー」。
多くのエントリーモデルから厳選された
時計たちはこんなに多彩な顔ぶれに!

★ 東京女子賞

「エルメス」

「エルメス カット」

随所にメゾンの美学が宿る
女性のための機械式時計は
新たなアイコンに!

「ラグジュアリーかつスポーティで、ど
んな目にも馴染むウォッチとはどん
なもののなか。それを「エルメス」に
委ねて生まれたのがこのデザインなの
だと思っています。腕に着せたときの感触や
バランスが絶妙で、手帳さなかなるウォ
ッチ」 ¥2,295,000 ●ケース：55×49mm
●ケース径：30mm ●ストラップ：ラバ
ー ●自動巻き(エルメスジャポン)

★ 中野美穂賞

「シャネル」

「ルール・ドゥ・ダイヤモンド」

神秘的な文字盤のブルーに
主役のダイヤモンドが映える
美観のジュエリーウォッチ

「アベンチュリンガラスの文字盤を囲む
のは、24時間を通する24個のペアン
シェイプダイヤモンド。光輝く24時間
に広がる美観の瞬間を大切にしたいメッ
セージを伝えてくれる、ロマンティックな
時計」 ¥7,834,000 ●ケースWG×ダイ
ヤモンド ●ケースサイズ：縦33×横33
mm ●ストラップ：アクリルター ●自動
巻き(シャネル ジョアン プレス)

★ 佐野リカ賞

「パチッタ フィリップ」

「アクアノート・トラベルタイム
Ref.5269」

ダイヤモンドの輝きを
必要としない名品オーラ!
憧れのトラベルウォッチ

「シンプルでありながら、パチッタ フィ
リップ、らしい風格を輸入技が光るトラ
ベルウォッチ。ブルーグレーのストラ
ップとローズゴールドのコントラストが、
ダイヤモンドなしでも輝きを際立たせ
ています」 ¥5,600,000 ●ケース：
PG ●ケース径：38.5mm(10時-4時方
向) ●ストラップ：コンボジット ●ク
ォーツ(パチッタ フィリップ)

★ 大倉日枝乃賞

「ブランパン」

「レディバード カラーズ」

「大人のかわいさ」を表現する
色彩豊かな
本格機械式ムーンフェイズ

「本格機械式ウォッチでいながら、マル
チカラーのインデックスなど、大人の選
びに贈れる一本。合計2カラット以上
セットされたダイヤモンドも豪華!」
¥6,094,000 ●ケース：WG×ダイヤ
モンド ●ケース径：34.5mm ●ストラ
ップ：アクリルター ●自動巻き ●ア
クリルター ●付属品：アクリルター
の替えストラップ4本が付属(ブラン
パン プチック 銀座)



★ 池田隆子賞

「パネライ」

「ルミノール クアラント
カーボテック™」

「ハンサムウーマン」を
具現化した、クールな
ジェンダーレスウォッチ

「直径40mmというグラマラスなサイズ感、
100g未満という軽量化。国産のアク
アセントになるミタリ・グリーンは定
守盤。心を奪われた大きな理由はこの3
つ。しなやかさと強さをもつ私の憧れの
女性像を具現化したような一本です」
¥2,602,000 ●ケース：カーボテック™
●ケース径：40mm ●ストラップ：ラバ
ー ●自動巻き(オフィチーネ パネライ)

★ 中野美穂賞

「フランク ミュラー」

「グランド カーベックス
ダイヤモンド」

アイコン的なフォルムの
美しさを改めて印象づける
特なダイヤモンドウォッチ

「ダイヤモンドの輝きがアイコン的な
フォルムの曲線に沿って流れる様子は、
オーセンティックにしてセクシー。さら
げなく見えて技師の粋を凝めた美しさは
格別です」 ¥12,055,000 ●ケース：PG
×ダイヤモンド ●ケースサイズ：縦44
×横30mm ●ストラップ：フロッグ
×ラバー ●自動巻き(フランク ミュ
ラー ウォッチランド東京)

★ 岡村優子賞

「ジャガー・ルクルト」

「レベルソ・クラシック
「ダイヤモンド・デュエット」

待望のステンレススチール
プレスレットモデルが登場した
角形時計の永遠の名品

「待望するケースの裏と裏でふたつの表
情を演じる「レベルソ・クラシック」の
自動巻きコレクション。このサイズに
新たに迎えたステンレススチールプレ
スレットモデルは、まさに大人の女性の
日常に寄り添う名品です」 ¥2,462,000
●ケース：SS ●ケースサイズ：縦40×
横24.4mm ●プレスレット：SS ●自動
巻き(ジャガー・ルクルト)